

居合道たより35号



居合道ながさき



庖厨や鉢朝顔の実をむすぶ / 飯田蛇笏 立秋(りっしゅう)

暑さも日増しに厳しくなる中、7月29日(土)福岡県で開催された玉竜旗高等学校剣道大会男子団体において長崎南山高校男子が本県勢として準優勝の快挙を成し遂げました。コロナ感染対策を考慮しながらの稽古や大会参加では大会関係者や医療従事者の苦労は大変なものだと思います。そのような状況においての指導者、選手の活躍には感動するばかりです。これからの活躍にも期待したいものです。

立秋とは、8月8日(火)を言います。立秋とは暦の上で秋のはじまりとされる日です。まだまだ暑さのきびしいころですね。この日を境に、「暑中」は「残暑」になり、残暑見舞いを書く季節へと変わります。

「秋が立つ」と書くように、立秋は「秋の気配が徐々に立ち始める期間」を意味します。ただ、実際にはこの頃はまだまだかなり暑い日が続く時期です。「暑さ寒さも彼岸(秋分の頃)まで」と言うように、気温が下がり、秋の気配が漂うのはまだ先になります。

立秋の時期は、お盆の期間と重なります。先祖の霊を家に迎え、供養する行事であるお盆は、立秋の一週間後、つまり8月13日頃に始まるのが一般的です。盆入りの日には、先祖の魂が迷わずに家に帰ってくるように火を焚き(迎え火)、盆明けの日には、先祖の魂が無事にあの世へ戻れるように火を焚く(送り火)という風習があります。



写真：アサガオ

報告(1)第58回都道府県対抗全日本居合道大会強化稽古

令和5年10月21日(土)に東京都道館において第58回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化稽古等で選考されます。強化稽古は本大会まで佐世保工業高校同窓会記念館を中心に本大会まで10回予定で稽古中です。

大会の趣旨は全日本剣道連盟居合の普及振興を図ると共に、古流を伝承するため、各都道府県剣道連盟の代表選手により優勝試合を行い、居合道の技術の向上を図るものです。さらに個人演武者の参加も加え、日頃の修練を披露すると共に、参加者相互の親睦を深め、もって斯道のより一層の発展を期するものです。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイント合計が団体の総成績で戦います。

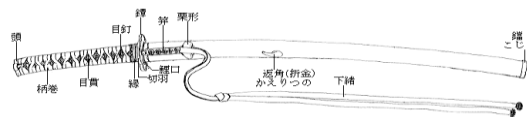
<全日本居合道大会 長崎県代表強化選手>

監督 高木志伸(居合道部長 居合道教士七段)

五段 作永憲昭(佐世保剣心会・佐世保市)、高木 元(口之津健武会・南島原市)

六段 畑中健佑(遊道会・長崎市)・岩男徹史(平戸厚海会・平戸市)

七段 宮崎大輔(友鋼会・大村市)・金丸律子(平戸厚海会・平戸市)



長崎県代表強化選手



準優勝!! 玉竜旗高校剣道大会 長崎南山



決勝戦 九州学院×長崎南山

報告(2)・令和4年度全剣連居合道中央講習会・西日本地区講習会



標記講習会が令和5年7月1日(土)、2日(日)にコロナ禍の中、西日本の各府県から居合道剣士が高知県民体育館において関係者を含め六段から八段まで約300名の参加で開催されました。

講師：全日本剣道連盟居合道委員長：草間純市 全剣連審議員：小倉昇 居合道委員 中村正人、佐々木幹彦、山崎明正、國方孝之、無津呂弘之 勝瀬文隆、桑田孝博

中央講習会受講者 教士七段 高木志伸、教士七段 平 禮道

1. 7月1日(土) 1日目

全日本剣道連盟居合を講師の草間純市範士及び教士八段 勝瀬文隆、教士八段 桑田孝博より、受講者全体に解説及び説明がありました。特に今回の講習会では全日本剣道連盟居合(解説)の変更はありませんでしたが、居合道試合審判規則、居合道試合及び細則の変更に伴い大幅の変更があり、詳しく解説がありました。その後グループに分かれての全日本剣道連盟居合の実技講習が詳細にありました。

2. 7月2日(日) 2日目

令和5年10月21日(土)コロナ禍の中での東京都で開催される全日本居合道大会に向けて、審判講習会の講義と実技を講師の草間純市範士及び中村正人範士の丁寧な説明がありました。

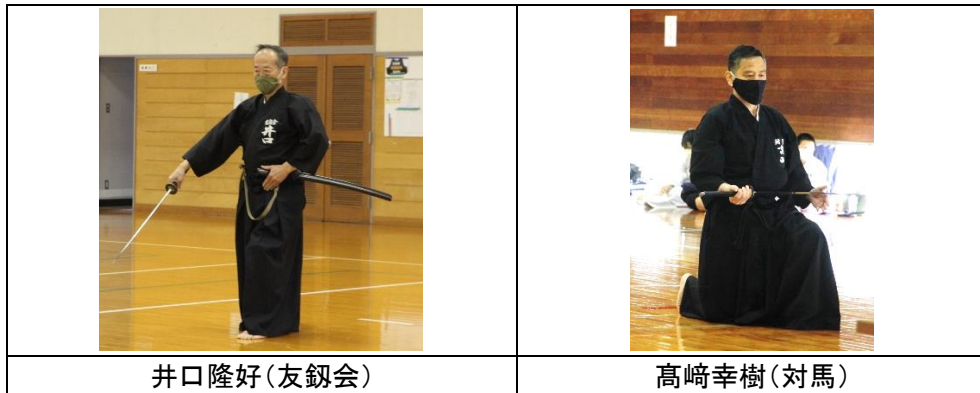
講習会最後には夢想神伝流及び無双直伝英信流及びその他の流派に分かれ各流派に伝わる脈々と伝わる流派について研究会がありました。特に関口流や西日本地区の田宮流、夢想神伝流、無外流、無双直伝流など多くの古流をたっぷりと研究できました。

とても素晴らしい講習会になったことを感謝します。高知県をはじめ関係者の皆さんにご苦労に感謝いたします。

報告(3)・令和5年度全剣連居合道中央審査会(栃木)報告

六段 井口隆好(友弼会)、高崎幸樹(対馬) 合格！！

令和5年7月21日栃木県南体育館で開催された居合道七段・六段審査において六段に井口隆好、高崎幸樹が合格をしました。日頃の稽古に対す熱い思いや弛まぬ努力の成果が現れたのだと思います。おめでとうございます。令和5年12月10日(日)に江戸川スポーツセンターで開催される居合道七段・六段審査においても受審される先生方も合格できますようお祈りいたします



お知らせ(1)・令和5年度全剣連居合道中央講習会伝達講習会案内

※令和5年度秋季道一級位審査会を開催致します。

- 1 期日 級位審査会：令和5年9月10日(日) 16:00～
- 2 会場 長崎県立武道館(佐世保)
- 3 講師 級位審査員：(高木志伸、平 禮道、中村武文、岩男徹史)
- 4 審査料 1,500円+証書料1,000円=2,500円
- 5 申し込み 〳切 8月31日(木) 県居合道事務局まで

※令和5年度居合道中央講習会伝達講習会を開催致します。

- 1 期日 講習会：令和5年9月10日(日) 10:00～15:30
- 2 会場 長崎県立武道館(佐世保)
- 3 講師 教士七段 高木志伸、教士七段 平 禮道
- 4 内容 全剣連居合及び審判法についての伝達講習会
- 5 携行品 全剣連居合道解説書、居合道審判規則、細則、メモ帳、筆記(用具)、居合刀、居合衣、袴、マスク、居合道手帳
- 6 参加料 一般 1,500円(講師以外の居合道七段の方も必要です) 学生 500円
- 7 申し込み 今講習会より弁当注文の都合上事前の講習会申し込みが必要です。弁当注文有無に関わらず道場ごとの参加申し込みをお願いいたします。※ 申し込みをしていなくても当日講習会参加は可能です。

